

2026年2月26日

商号 SBIアセットマネジメント株式会社
 金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第311号
 加入協会 一般社団法人投資信託協会
 一般社団法人日本投資顧問業協会

「顧客中心主義」が結実 SBIアセットマネジメント、運用残高8兆円を突破
 — グループ全体では12兆円超、20兆円目標へ前進 —

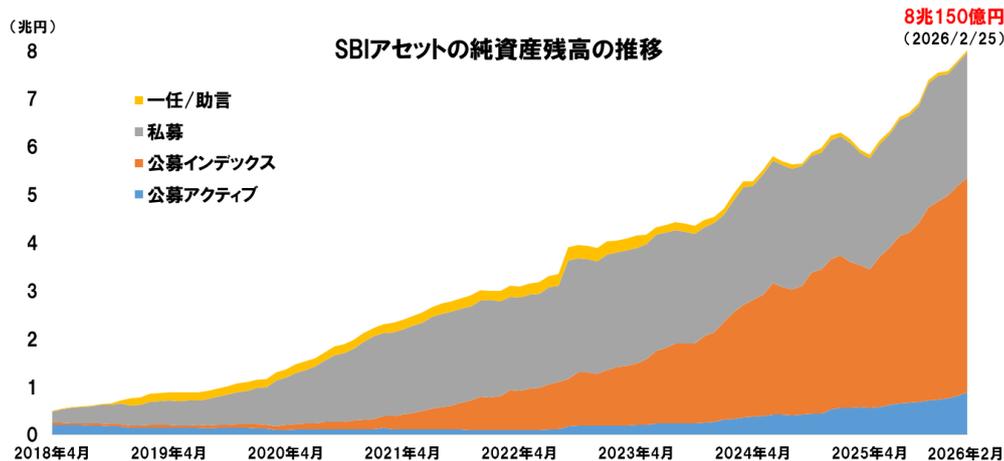
当社グループの運用会社であるSBIアセットマネジメント株式会社(以下「SBIアセット」)の運用残高合計が、2026年2月25日に8兆円を突破しましたので、お知らせいたします。

直近では、当社グループのレオス・キャピタルワークス株式会社が2月10日に1.7兆円、SBI岡三アセットマネジメント株式会社が2月12日に2.3兆円を突破し、グループ全体での運用残高は、2026年2月25日時点で12兆6,195億円となりました。また、投信会社の純資産残高(公募・私募のみ)ランキングにおいて、SBIアセットを含む当社グループ3社の合計残高は、第9位^{※1}に位置しております。2028年3月までに、投資一任・投資助言・海外運用・M&A等も含むグループベースでの運用残高20兆円達成を目標とする中、各社はそれぞれの強みを活かし、規模を拡大しております。

SBIアセットは、業界最低水準の信託報酬を追求するインデックスファンドを基盤に、長期・積立・分散投資に資する商品を提供してまいりました。主力の「SBI・V・S&P500インデックス・ファンド」(純資産残高約2.6兆円)をはじめ、「雪だるま」シリーズや「サクっと」シリーズなど、多様なニーズに応える商品ラインアップを拡充し、幅広い投資家層から支持をいただいております。

また、アクティブ運用においても、「SBI日本高配当株式(分配)ファンド(年4回決算型)」や「SBI・S・米国高配当株式ファンド(年4回決算型)」など、「成長」と「分配」の両立を志向した商品群を展開し、これらを組み合わせた毎月分配型ポートフォリオの構築にも対応してまいりました。

加えて、足下で資金流入が拡大している「SBI・iシェアーズ・ゴールドファンド(為替ヘッジあり/なし)」をはじめ、「SBI-Manリキッド・トレンド・ファンド」、「SBIオルタナティブ・ハイインカム・セレクト・ファンド(年4回決算型)」等のオルタナティブファンド、「SBIダルトン日本アジア・アクティビストファンド」等の先進的な商品も展開し、運用の高度化と差別化を図っております。



今回の8兆円突破は、さらなる成長に向けた出発点と捉えております。今後も「顧客中心主義」のもと、低コストかつ高品質なファンドを提供し、投資家の皆さまの最適な資産形成に貢献してまいります。

以上

※1 出所：投資信託協会公表資料「運用会社別資産増減状況」(2026年1月末時点)。公募投資信託および私募投資信託の合計値。

*****【本件に関するお問い合わせ先】*****
 SBIアセットマネジメント株式会社 商品企画部 電話:03(6229)0170

(金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第311号、加入協会：一般社団法人投資信託協会/一般社団法人日本投資顧問業協会)

○本資料は、SBIアセットマネジメント株式会社が信頼できると判断したデータに基づき作成されておりますが、その正確性、完全性について保証するものではありません。また、将来予告なく変更されることがあります。○本資料中のグラフ、数値等は過去のものであり、将来の傾向、数値等を予測するものではありません。○投資信託は値動きのある証券に投資しますので、基準価額は変動します。したがって、元本保証はありません。○投資信託の運用による損益はすべて受益者の皆様に帰属します。○お申込みの際には必ず投資信託説明書(交付目論見書)の内容をご確認の上、お客様自身でご判断ください。

投資信託にかかるリスク

投資信託は、主に国内外の株式・公社債等値動きのある証券を投資対象としますので、組入株式の価格の下落や、組入株式の発行体の財務状況の悪化等の影響により、基準価額が下落し、その結果、大きく損失を被る場合があります。

また、投資信託は、それぞれの投資信託ごとに投資対象資産の種類や投資制限、取引市場、投資対象国等が異なることから、リスクの内容や性質が異なりますので、お申込みの際には必ず投資信託説明書(交付目論見書)の内容をご確認の上、お客様自身でご判断ください。

※投資信託はリスクを含む商品であり、運用実績は市場環境等により変動します。したがって元本保証はありません。

お客様に直接・間接にご負担いただく費用等

(お買付時に直接ご負担いただく費用)

- お買付手数料 上限 3.85%(税抜 3.5%)

(途中解約時に直接ご負担いただく費用)

- 信託財産留保額 上限 0.5%

(保有期間中にファンドが負担する費用(間接的にご負担いただく費用))

- 信託報酬 上限 2.585%(税抜 2.35%)

※成功報酬制を採用する投資信託については、基準価額の水準等により報酬額が変動するため、上限等を示すことができません。

また、上記上限を超える場合があります。

● その他の費用

監査費用、有価証券売買時にかかる売買手数料、信託事務の諸費用等が信託財産から差引かれます。その他の費用は、監査費用を除き、運用状況等により変動するものであり、事前に料率、上限額等を示すことができません。

《ご注意》

上記に記載しているリスクや費用等につきましては、一般的な投資信託を想定しています。費用の料率につきましては、SBIアセットマネジメント株式会社が運用するすべての投資信託のうち、ご負担いただく費用における上限を記載しております。また、成功報酬を採用する投資信託については、基準価額の水準等により報酬額が変動するため、上限額を超える場合があります。投資信託にかかるリスクや費用は、それぞれの投資信託により異なりますので、お申込みの際には、必ず該当投資信託の投資信託説明書(交付目論見書)の内容をご確認の上、お客様自身でご判断ください。

投資信託ご購入の注意

- 投資信託をご購入の際は、必ず投資信託説明書(交付目論見書)をあらかじめ、もしくは同時にお受取りになり、内容をご確認ください。
- 投資信託は値動きのあるものであり、元本保証、利回り保証、及び一定の運用成果の保証をするものではありません。したがって、運用実績によっては元本割れする可能性があります。
- 投資信託の基準価額の下落により損失を被るリスクは、投資信託をご購入のお客様が負うこととなります。
- 投資信託は預金ではなく、預金保険の対象ではありません。
- 銀行など登録金融機関でご購入いただく投資信託は、投資者保護基金の支払対象ではありません。

○本資料は、SBIアセットマネジメント株式会社が信頼できると判断したデータに基づき作成されておりますが、その正確性、完全性について保証するものではありません。また、将来予告なく変更されることがあります。○本資料中のグラフ、数値等は過去のものであり、将来の傾向、数値等を予測するものではありません。○投資信託は値動きのある証券に投資しますので、基準価額は変動します。したがって、元本保証はありません。○投資信託の運用による損益はすべて受益者の皆様に帰属します。○お申込みの際には必ず投資信託説明書(交付目論見書)の内容をご確認の上、お客様自身でご判断ください。